

2026.1月

銀の汗 Again

A面



謹賀新年 2026年も宜しくお願いいたします: 新春号

2025年大変お世話になりました。2026年も引き続きご支援、ご声援の程、よろしくお願い申し上げます。



竹瀬・小田・豊田 産廃ドライバー



佐久間・坂本・矢内MG・赤坂・高山



松田・石川OP

曾根・江縫OP

午(うま)は太陽が最も高く昇る時刻を表す文字であり、活力・情熱・行動力の象徴とされています。営業推進部、駄馬・老馬と見られても、引き続き情熱だけはNO1で駆け抜けてまいります。ヒヒーン



2025営業推進部振り返りトピック

1月	特販営業退職 帝京大学UN施工・・・学食満足	7月	システム変更で全社炎上⇒中止へ OP熱中症 バディ体制強化 九州6号機新木場にてオーバーホール開始
2月	特販展示会・・・神田明神で甘酒満足	8月	九州応援UN施工フェリーで8号機往復
3月	特注ブルゾン受注も毎日為替変動見積価格 決めるのが困難・・・為替不満足 アイシン岡崎工場名古屋へUN遠征	9月	廃液ドラム膨れ反応、固まり現場あり
4月	好調廃液処理、ドラム缶100ドラム購入	10月	全社組織改編、新社長、推進部新MG誕生
5月	熱中症対策水補給期間を延長へ(産廃・UN)	11月	インフルエンザ流行 産廃顧客本社移転による産廃依頼(謝)
6月	安全衛生規則改正、特販空調服販売前比130% 産廃2トン車新車リース載せ替え(豊田号)	12月	第二倉庫活用の実技講習会・・・活用活性化

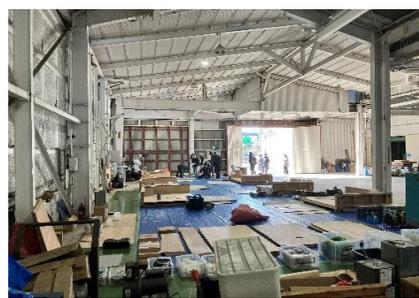
第二倉庫の一部利用で研修会



OPが研修会会場スペース作り



前日、主催者側で養生と架台設置



UN車両側から見た研修会場



研修当日朝8:30分集合



受講生が先生の説明を受講



各架台で実技開始12/17.18

化研マテリアルの使命「日本の街づくりに貢献する」
その為に、技能工教育にも力を入れる事は重要と考え
第二倉庫にスペースを作り、技能講習トライアルに
協力し3年目、今年も年末に塩ビの技能講習会場
スペースをOPが作り、「日本の街づくりに貢献」致します。
使用した残材は後日、産廃チームが回収致します。

2026.1月

銀の汗 Again

B面

謝2025年現場・2026年も共々銀の汗へ



千歳船橋ハイツ:イマイ様



グレースコート東村山:峰岸技研工業様



谷津パークタウン:小松崎防水様



アプリーレ高輪台:KSB様

UNご用命ありがとうございました

* 一部ご紹介



ウェルピア白寿:新青梅防水工業様



リバーイースト:勇塗装様



汚泥処理場:大車輪様

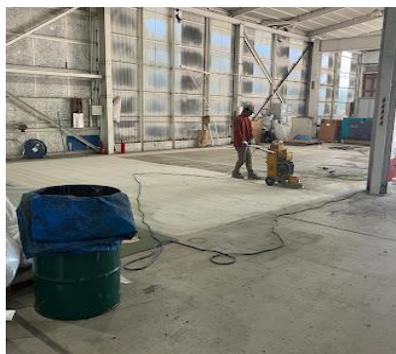


土浦郵便局:大車輪様

UNマシンデポ再度新たな床材試験施工



現在の床材(緑)より入り口側へ約12m新たな床材試験施工



施工終了



ここより入り口側へ、新床材施工

第二倉庫UNマシンデポの床は2年前に某メーカーが新商品として開発中の材料3品を実験を兼ねて塗布していただき、その後マシンメンテで油を落とした場合も簡単に拭き取れ快適な床材として助かっていました。そのメーカーが新たに3品開発し塗り継部より入り口方向へ12m新商品の床材を塗布頂きました(謝)。早く新たな材料を開発して、第二倉庫の片側すべてを緑の床材で覆いつくして頂ければありがたいと存じます。ヒヒ〜ン



UNマシン.COMサイトが立ちあがりました

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシン

にて検索

【sweat of silver】

2025年一番の出来事は7月に初孫が誕生したことです。今は首がすわり、寝返りもうてて、喜怒哀楽の表情が豊かになり、ニコニコした顔は目に入れても痛くないの言葉通り、可愛い一言です。とにかく目がピカピカしています。目は口ほどに物を言うと言いますが、瞳の輝きは大事です。大人になっても何かに一心不乱に取り組んでいる人の目はピカピカしています。何かに挑戦している人の目は燃えています。懸命に駆ける競争馬の瞳は澄み切っています。嫌な事や汚い事、見たくもない事を見るのが世の常。そして瞳が濁っていくのも世の常、但し濁った泥の中からスカッと純に綺麗な蓮の花は咲きます。蓮の花ことばは「清らかな心」「神聖」そう本当に神聖なのは、この世間の泥のような現実世界の中から、たった一つでもいい、一途に挑戦したものが咲いたら、神聖になっていきます。過去最多の11,521組がエントリーした今年のM1、決勝戦の3組はいずれも今まで一途に努力したネタをぶつけました。審査員も懸命に採点をしていきます。ある審査員が決勝戦の中、本来ならば、ネタの精度・間など審査項目を細かくチェックすべきところ、途中であまりにも面白くもう採点なんてどうでもいい笑おう・と決めたところが優勝しました。私も久しぶりに大笑いました。漫才が終わっても、思い出して笑ってしまいました。3組共、独自の型は完璧にできています。3組とも1本目と同じ型の漫才を決勝戦でぶつけました。甲乙つけがたい3組の中、優勝者の一途な純が髪の毛1本分勝っていたと思いました。営業推進部も一途な純を忘れずに挑戦を続けてまいります。2025年、格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。本年も変わらぬご支援の程よろしく申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。